

お客様へ ●安全に長くお使いいただくために大切な内容です。必ずお読みください。

 警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。	 注意 誤った取り扱いをすると、人のけがや物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。
 必ず実施 ●点灯異常の際は電源を切る 異常を感じたときはすぐに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。そのまま使用すると、落下によるけがや火災の原因になります。	 必ず実施 ●定期的に点検する 3年に1回は専門家(工事店・電気店)による点検を実施してください。設置して8~10年 [※] 経つと、外観に異常がなくても劣化は進行します。点検せずに長期間使用を続けると、まれに発煙・発火・感電などの原因になります。 ※使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。(JIS C8105-1解説による)
 禁止 ●本製品の直下に熱源を置かない 照明器具の真下に暖房器具などの熱源を置かないでください。変形・変色・火災の原因になります。	 禁止 ●光を直視しない 点灯中にランプを直視しないでください。目を痛めることがあります。
 禁止 ●可燃物を近づけない 照明器具を布や可燃物で覆ったりかぶせたり、あるいは燃えやすいものや家具などを近づけないでください。近づけると相手材の変形・変色・火災の原因になります。	 禁止 ●点灯中・消灯直後にさわらない 点灯中や消灯直後は灯体や電源ユニットが高温になっていることがありますので、触れないでください。やけどの原因になります。
 禁止 ●破損した器具を使用しない 照明器具が破損していることを確認したときは、電源を切り使用を中止し、工事店・電気店に相談してください。使用を続けると感電・火災・落下・けがの原因になります。	 禁止 ●器具のすき間に金属や可燃物などを差し込まない 感電や故障の原因になります。
 禁止 ●分解・改造をしない 照明器具の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・火災の原因になります。	

LED照明使用上の注意

- 本照明器具のLEDモジュールは交換できません。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤作動することがあります。器具とコントローラ受信部を離して使用してください。
- ラジオ、ワイヤレス機器は、なるべく本製品から離して使用してください。雑音が入ったり、誤作動したりすることがあります。
- LED照明は、同一型番でも発光色、明るさが異なることがあります。
- 照射距離が近い場合、光むらが発生することがあります。

お手入れ方法

- 明るく安全に使用するため、以下の方法で定期的に清掃してください。
- 清掃する際は必ず電源を切り照明器具が冷えたことを確認してから行ってください。
 - 照明器具のすき間に金属や可燃物を差し込んで清掃をしないでください。内部に残った場合に、発火や火災の原因になります。
 - 清掃には、水または薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞って使用してください。そのあと洗剤が残らないように水拭きしてください。
 - シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。破損、変色の原因になります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

- 保証期間
保証期間は、お買い上げ日より3年間です。
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。
※物件または使用環境により保証内容が異なることがあります。詳しくは担当営業にお問い合わせください。
保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。保証期間内でも有料になることがあります。詳しくは保証規定をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料にて修理いたします。
- 補修用性能部品の保有期間について
当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについて
ご不明な点はお買い上げの販売店、またはLED照明サポートコールにお問い合わせください。

保証規定

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- ①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- ②お買い上げ後の取り付け場所の移設・輸送・落下などによる故障および損傷
- ③火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・異常電圧・指定外電源(電圧・周波数)の使用などによる故障および損傷
- ④車両・船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
- ⑤施工上の不備に起因する故障や不具合
- ⑥法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷
- ⑦日本国以外での使用による故障および損傷

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 法人向けLED照明 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/>
仙台市青葉区五橋2丁目12番1号

製品に関するお問い合わせは(通話料無料) **LED照明サポートコール 0800-111-5300** (受付時間) 平日9:00~17:00、土・日・祝日9:00~12:00/13:00~17:00 (年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは (通話料無料) **0800-888-2600** Webからのお問い合わせは (メールフォームにご記入のうえ送信してください) <https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/contact/>

高天LED直付けHW-C
100517-MKW-GXJ-01
P160517-MKW-GXJ-01

IRIS ECOHILUX HW-C

高天井LED照明 シリーズ共通 IP67 重耐塩仕様

このたびはアイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

<h3>安全上の注意</h3>	ここに示した注意は、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
<h3>図記号の意味</h3>	 注意を促す記号  してはいけない [禁止] 内容  しなければならない [指示] 内容

施工担当者様へ — 取り付けと使用に関する重要な注意 —

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある特に重要な内容を示しています。必ず守ってください。
 必ず実施	<ul style="list-style-type: none"> ●使用環境温度・湿度を守る 本器具は屋内・屋外兼用です。適正温度の範囲内で使用できますが、高温で使用すると火災の原因になるおそれがあります。湿度が常に90%RHを超える環境での使用は、絶縁不良や感電の原因になります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ●使用環境温度：-40℃ ~ 50℃ ●使用環境湿度：90%RH以下 </div>

 警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。	
 必ず実施 <ul style="list-style-type: none"> ●電源は定格で使用する 電圧AC100-240V(電圧変動±6%以内)、周波数50/60Hzであることを確認して設置してください。正しく使用しないと、短寿命や火災の原因になります。 ●施工説明にしたがい確実に行う 施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規定などの法令や規格にしたがって行ってください。施工が正しくないと、落下・感電・火災の原因になります。 ●落下防止ワイヤーを取り付ける 器具の設置には必ず落下防止ワイヤーを使用し、重さに十分耐えられる構造体や設備に取り付けてください。正しく使用しないと落下による重大な事故の原因になります。 ●風速60m/sを超える風を直接受ける場所や、経年で強度が低下する場所には取り付けない 60m/sを超える風を受けると落下するおそれがあります。また、経年使用により取り付け部の強度が低下することが想定される場所には、取り付けないでください。 	 禁止 <ul style="list-style-type: none"> ●可燃物の近くに取り付けけない 器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、かぶせたり、あるいは燃えやすいもの近くに取り付けけないでください。発熱・発煙・発火の原因になります。 ●粉塵・オイルミスト・引火性ガスや虫の発生する場所には取り付けけない 発熱・発煙・発火の原因になります。 ●酸や塩素などの腐食性ガスの発生する場所、浴室や塩素を使用したプールには取り付けけない 腐食や落下による重大なけがの原因になります。 ●閉ざされた空間や天井へは埋め込まない 天井に埋め込むなど、せまい容積の閉ざされた空間には取り付けないでください。火災の原因になります。 ●破損している器具を取り付けけない 感電・火災・落下・けがの原因になります。 ●分解や改造はしない 器具の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災などの原因になります。

 注意 誤った取り扱いをすると、人のけがや物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。	
 必ず実施 <ul style="list-style-type: none"> ●接地(アース)工事を確実に行う 「電気設備技術基準」にしたがって施工してください。接地工事が正しくないと、感電の原因になります。 ●発光面は必ず鉛直下向きで使用する 発光面を鉛直下向き以外では使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。 	 禁止 <ul style="list-style-type: none"> ●電源ユニットの口出線に力を加えない 口出線を持って器具を運搬しないでください。断線や絶縁破壊、接触不良による発熱事故や故障の原因になります。 ●点灯中・消灯直後にさわらない LEDモジュールや電源ユニットが高温になっていることがありますので触れないでください。やけどの原因になります。

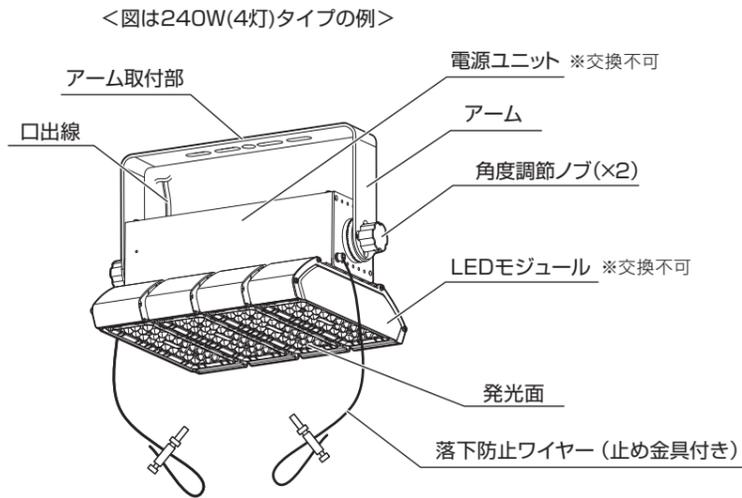
その他の注意 設置や取り扱いについての注意です。

- 硫黄成分がある場所には取り付けないでください。メッキ工場などのように硫黄成分を含むガス・蒸気・液体にさらされるおそれがある場所では使用しないでください。光学性能に影響を与える場合があります。
- 照明器具の電源は、高ワットの動力源(モーター)やインバーターなどの製品と回路を分けてください。高ワット製品の使用時にちらつくことがあります。
- 橋脚上など常に激しい振動が加わる場所には取り付けないでください。故障の原因になります。
- 防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像に縞模様やちらつきが見える場合があります。

各部の名称

- 組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることを確認してください。
- 不足している部品がある場合は、担当営業またはサポートコールまでご連絡ください。

器具



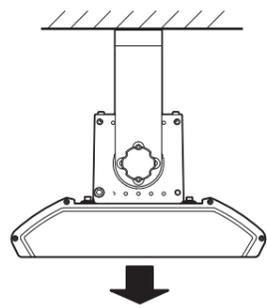
■取り付けと照射方向

※必ず発光面が鉛直下向きになるように取り付けてください。

●水平天井への取り付け

<基本設置状態>

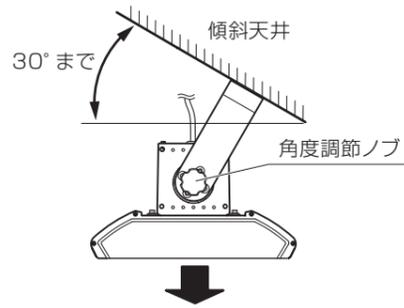
通常は下図の姿勢で取り付けてください。



鉛直下向きに取り付ける

●傾斜天井への取り付け

傾斜角度0~30°までの天井に取付可能です。必ず角度調節ノブで、発光面が鉛直下向きになるように調節してください。



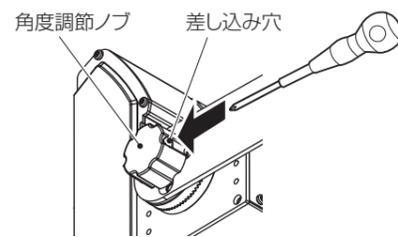
鉛直下向きに調節する

■角度の調節

※必ず落下防止ワイヤーを取り付けてから調節してください。

LEDモジュールを支えながら角度調節ノブ(2か所)をゆるめて、ゆっくり角度を調節してからノブを締め付けてください。

※角度調節ノブを回しにくいときは、ノブ横の穴にドライバーなどを差し込んで回してください。

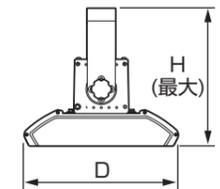
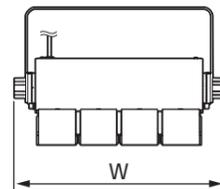


仕様

■品番構成 凡例 **CL3M - 120W - 60 - K50 - R7** ※製品寸法

LEDモジュール数	消費電力	1/2ビーム角	色温度(光源色)	演色性
CL3M 3灯	120W 180W	60° 90°	K50:5000K(昼白色) K40:4000K(白色)	Ra70
CL4M 4灯	240W	110°		

消費電力	定格入力電流(A)			製品寸法*(W×D×H)(mm)	質量(kg)
	AC 100V	AC 200V	AC 240V		
120W	1.22	0.61	0.51	332×300×268	6.4
180W	1.84	0.92	0.77		
240W	2.45	1.22	1.02	412×300×268	8.8



落下防止ワイヤー: 約0.5m(x2)
口出線: 約1.5m

- 使用電源: 電圧AC100-240V、周波数 50/60Hz ●使用温度範囲: -40℃ ~ 50℃
- LEDモジュール設計寿命: 60,000時間

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

取り付けかた

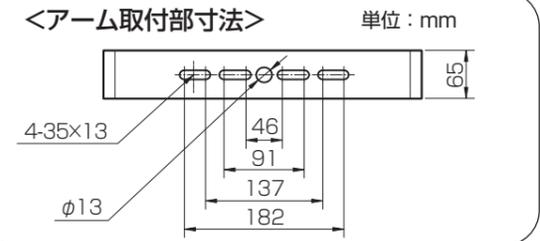
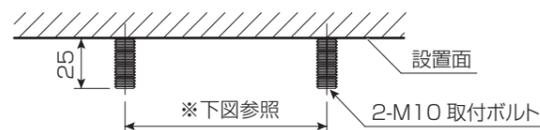
- アームの取り付けは、ゆるみが生じないように確実に行ってください。

■器具の取り付け

※取付ボルト/ナット/座金類は別途準備してください。

1. アーム取付部寸法を参照して、設置面に取付ボルトを設置してください。

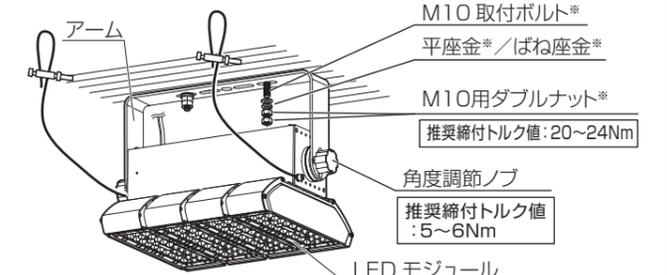
長穴2か所を使用する場合



2. 設置したボルトにアームを取り付けてください。アームは必ずダブルナットで固定してください。

警告 ナットの締め付けトルクが不足すると、ゆるみにより器具が脱落または落下して、重大事故の原因になることがあります。

●水平天井への取り付け例(M10ボルト使用の場合)



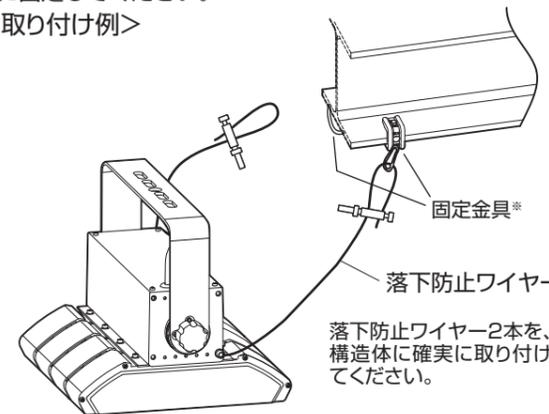
※取付ボルト/ナット/座金類を別途準備してください。

■落下防止ワイヤーの取り付け

※固定金具を別途準備してください。

本体の落下防止ワイヤーを、必ず荷重に耐えられる構造体に固定してください。

<取り付け例>



警告 正しく取り付けないと、落下により重大な事故やけがが発生する原因になります。

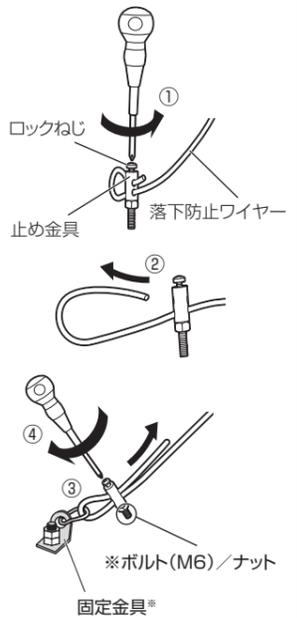
器具を取り付けた状態で、落下防止ワイヤーにたるみがないように取り付けてください。

<落下防止ワイヤーの長さ調節方法>

※固定金具を別途準備してください。

以下の手順で、本体直結の落下防止ワイヤーを適切な長さに調節して、落下防止ワイヤーが抜けないように、ロックねじを確実に締めてください。

- ① 落下防止ワイヤーに付属している止め金具のロックねじをゆるめる。
- ② 落下防止ワイヤーの先端を止め金具から抜き取る。
- ③ 落下防止ワイヤーの先端を、構造体のフックなどに通したあと、止め金具へ戻し通す。
- ④ 落下防止ワイヤーのたるみを取り、ロックねじを確実に締める。

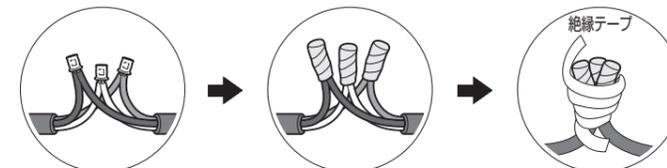


※止め金具のボルト(M6)/ナットは、構造体に直接固定することもできます。

■電源線・アース線の接続

電源線とアース線を確実に結線してください。

- ① 圧着端子を使用して、各芯線を圧着結線する。
- ② 圧着端子を絶縁処理する。
- ③ 圧着端子全体を、シース部分も含めて絶縁処理をする。



電源	L - 黒	器具
	N - 白	
	GND - 緑	

※絶縁処理には、絶縁テープなどを使用してください。

警告 ●結線と絶縁方法が正しくないと、発熱・感電・火災の原因になります。
●アース工事(D種接地工事)は、電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。正しく施工しないと、感電・火災の原因になります。

